

強度行動障害の理解 困っていることの体験

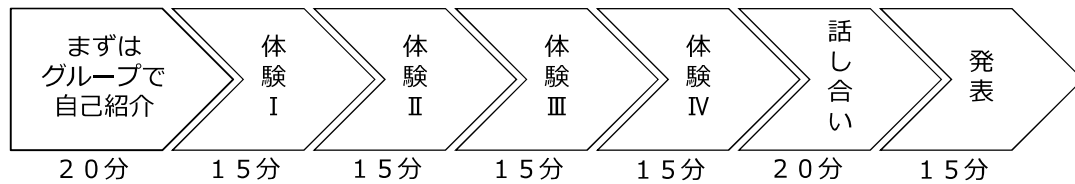
1

この時間で学びたいこと

- 強度行動障害は本人が強い困惑を感じ、その解決策が見出せないまま、なんとか抜け出そうともがいている状況と考えることもできます。
- この時間では、私たち支援者がどんな困惑を感じさせてしまっているのか、強度行動障害の方々の立場になって体験してみます。
- もちろん感じ方は人それぞれ違うと思いますが、自分たちの体験レベルよりもはるかに強い困惑を感じてこられた方々であるという思いを持ちながら研修を進めていければと思います。

2

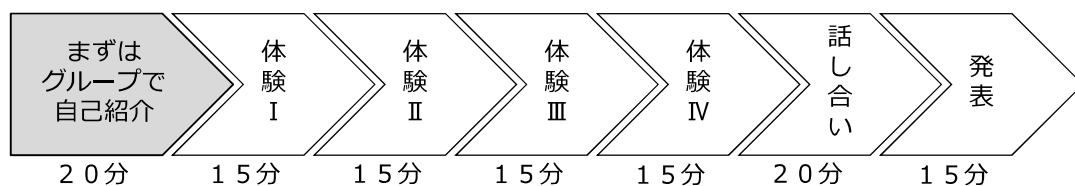
この時間の流れ



- まずグループ内での自己紹介を行い、少しでもお互いの距離を縮めます。
- 体験メニューは4パートあります。何を体験しようとしているのかを考えながら、積極的に参加しましょう。
- 途中で何を感じたか、数名に発表してもらおう場面もあります。
- 最後にグループメンバーで振り返りを行い、発表します。

3

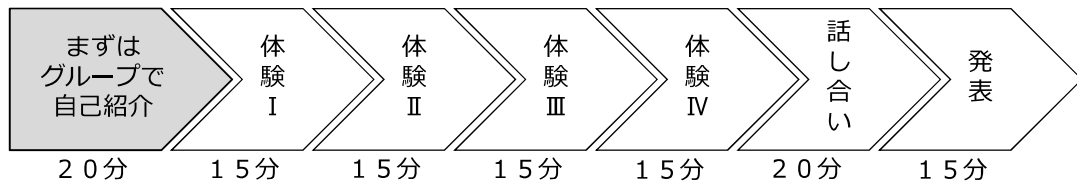
自己紹介①



- ペアを作ります。
机上の番号を確認して下さい
①と② ③と④ ⑤と⑥
各グループの3つのペアを作して下さい
- ペア同士が正対するように座して下さい。
- 合図の後、5分間、ペアを組んだ相手が「どんな人物であるか」を想像して下さい。
- 一言もしゃべらず、視覚的な手がかり（観察）だけで想像して下さい。
- なお、その印象については、配布するオリエンテーションシート「第一印象」の欄に書き込んで下さい。

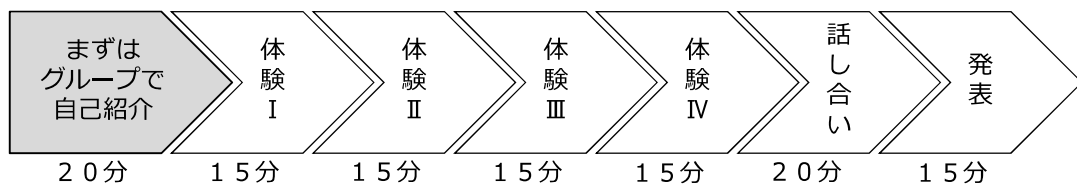
4

自己紹介②



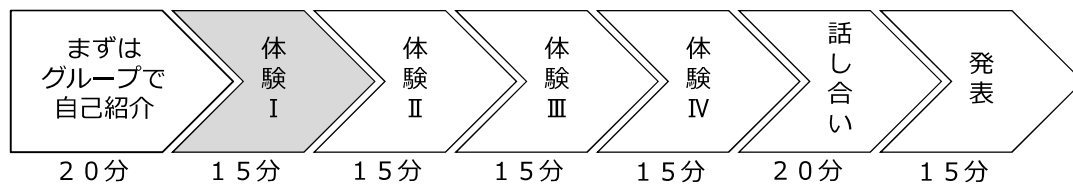
- 自分の推理が合っていたかどうか、ペア同士でお互いに質問しながら確認します。
- 最初に奇数番号（①③⑤）の人が偶数番号（②④⑥）の人に質問をし、答え合わせをします。時間は5分間です。
- 次に、偶数番号の人が奇数番号の人に質問をし、答え合わせをします。
- 質問で聞き取った情報は、簡潔にシートの「聞き取り」欄に記載して下さい。

他己紹介



- ①から順番に、ペアの相手を紹介して下さい（他己紹介）。制限時間は1分です。皆さんでタイムキープをお願いします。

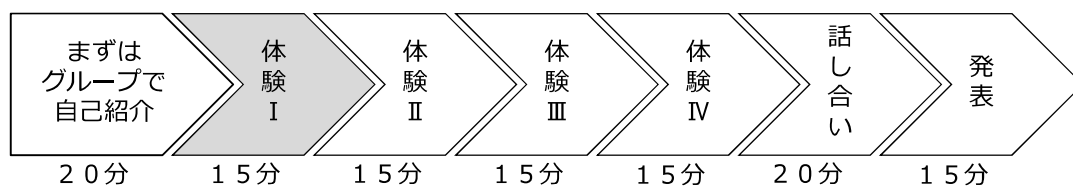
演習 1-体験Ⅰ 意味のわからない苦痛①



- ・ パフォーマンス役の人 1 名に封筒を配ります。
- ・ この体験での対象者は、パフォーマンス役の人以外のメンバーとなります。
- ・ グループのメンバーに伝えてほしい図形があります。その絵を渡しますので、他のメンバーには見せないようにお願いします。
- ・ 伝える条件は「言葉のみ」です。アクション一切なしでお願いします。
「合ってます」「〇〇さんいい線いってます」など評価に関する発言はNGです。他のメンバーはパフォーマンス役の人から与えられる情報で図形を再現してください。隣の人を覗き見るのはOKですが、真似と相談はNGです。制限時間を設けますので、そこでいったん終了となります。

7

演習 1-体験Ⅰ 意味のわからない苦痛①



- ・ ここでみなさんに体験してほしいこと

社会性の特性

【人や集団との関係に難しさがある】

相手から期待されていることを理解するのが難しい

【状況の理解が難しい】

見えないものの理解が難しい

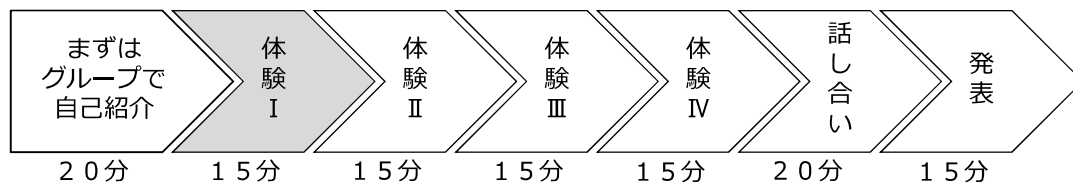
コミュニケーションの特性

【理解が難しい】

抽象的であいまいな表現の理解が難しい

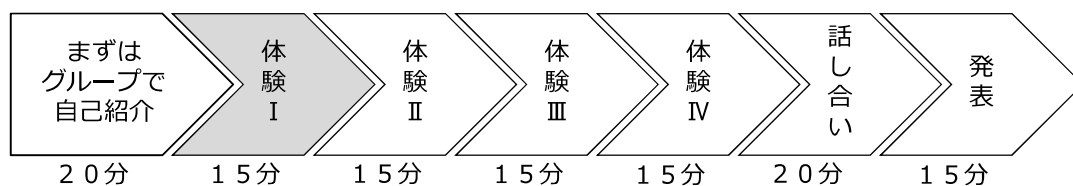
8

演習 1 -体験Ⅰ 意味のわからない苦痛②



- 各グループの代表1名の方に体験していただきます。
- まず、グループの代表の方は、いったん教室の外に出て、呼びに行くまで待っててください。
- 教室に残った皆様には、秘密のお話があります。よく聞いてください。
- 代表の方が、教室に戻ったら、講師と一緒にセッションをします。皆さん、精一杯、頑張ってください。

演習 1 -体験Ⅰ 意味のわからない苦痛②



- ここでみなさんに体験してほしいこと

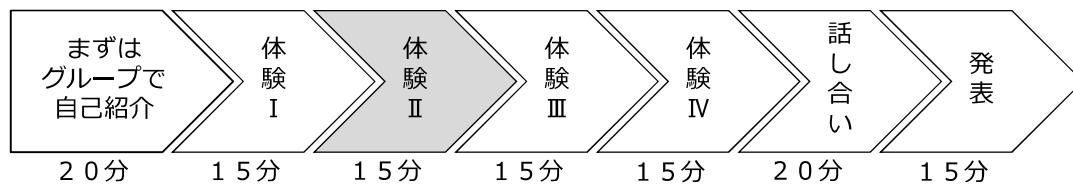
社会性の特性

- 【人や集団との関係に難しさがある】
相手から期待されていることを理解するのが難しい
- 【状況の理解が難しい】
見えないものの理解が難しい

コミュニケーションの特性

- 【やりとりが難しい】
表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい

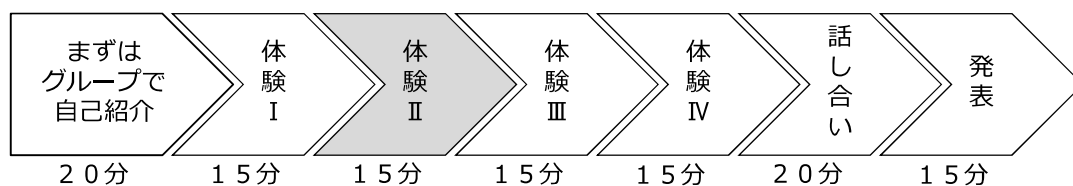
演習 1-体験Ⅱ 理解できないもどかしさ



- この演習は、3名の方に体験していただきます。
- まず、3名の方は、いったん教室の外に出て、呼びに行くまで待っていてください。
- 教室に残った皆様には、秘密のお話があります。よく聞いてください。
- 3名の方が、教室に戻ったら、講師と一緒にセッションをします。皆さんに質問をしていきますので、簡潔に回答してください。
- さいごに答え合わせをして、3名の方にインタビューします。

11

演習 1-体験Ⅱ 理解できないもどかしさ



- ここでみなさんに体験してほしいこと

コミュニケーションの特性

【理解が難しい】

話し言葉の理解が難しい

一度にたくさんのことを理解するのが難しい

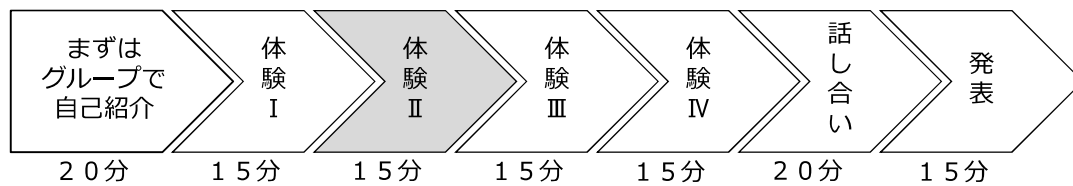
社会性の特性

【人や集団との関係に難しさがある】

相手から期待されていることを理解するのが難しい

12

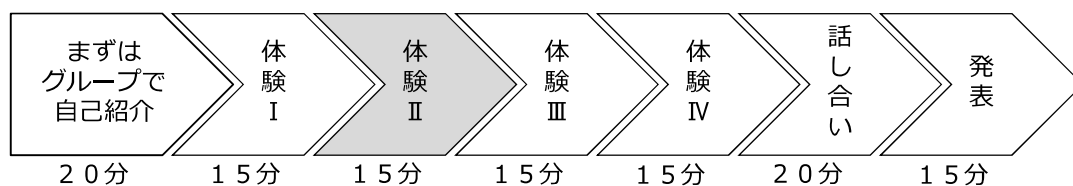
演習 1-体験Ⅱ 伝えられないもどかしさ



- ・ パフォーマンス役の人 1 名に封筒を配ります。
- ・ この体験でのターゲットは、パフォーマンス役の人になります。
- ・ グループのメンバーに伝えてほしいことがあります。声を出さずに指示書を読んでください。
- ・ 伝える時に、言葉を話したり文字を書いたり（指文字も含む）唇を動かしたりしてはいけません。ジェスチャーゲームです。
- ・ 途中で「一音だけ言っていいです（同じ一音）」と指示するかもしれませんが、「一単語だけ言っていいです（同じ一単語）」という指示があるかもしれません。でも、それに期待せず、必死に伝えましょう。

13

演習 1-体験Ⅱ 伝えられないもどかしさ



- ・ ここでみなさんに体験してほしいかったこと

コミュニケーションの特性

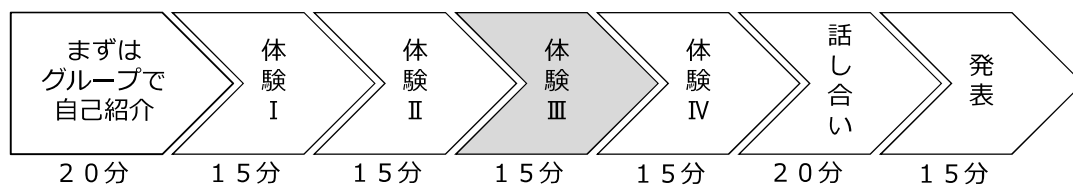
【発信が難しい】

話し言葉で伝えることが難しい

どのようにして伝えたらいいかわからない

14

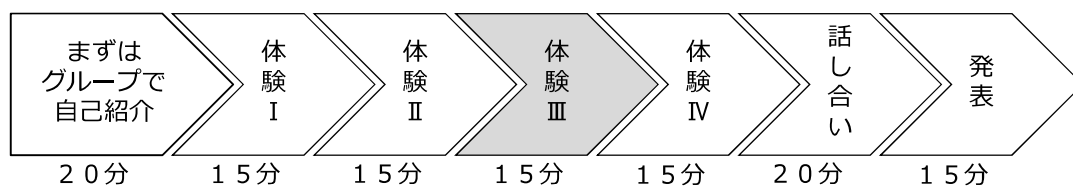
演習 1-体験Ⅲ 見通しの持てない不安や恐怖



- この体験は一斉に行います。
- まずは、この動画をちょっとだけご覧ください。
体験の一部ですので、よく見ていてくださいね。
- そして、ファシリテーターが質問するかもしれません。当たった人は、質問に回答して下さい。

15

演習 1-体験Ⅲ 見通しの持てない不安や恐怖



- ここでみなさんに体験してほしいこと

想像力の特性

【自分で予定を立てることが難しい】

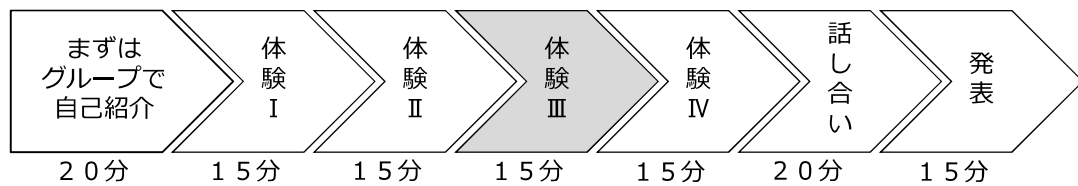
なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい
今やることを自分で判断することが難しい

【変化への対応が難しい】

先の予測をすることが難しい

16

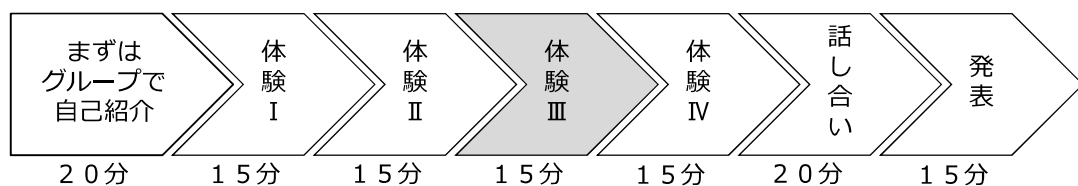
演習 1-体験Ⅲ 情報処理の困難



- ここでは2つの体験をします。最初は一斉に行います。
- 魚への漢字を見てもらいます。
その中で、3回登場する漢字が2つあります。
それは何でしょう？ すぐに見つけられますよね。
- では、みなさん一斉にお立ちください。
見つけた人から座っていきます。
見つけられない人はずっと立っていきましょう。

17

演習 1-体験Ⅲ 情報処理の困難



- ここでみなさんに体験してほしいこと

想像力の特性

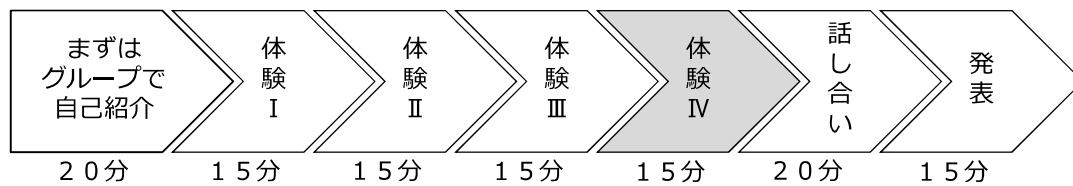
【物の一部に対する強い興味】
細部が気になり違いに敏感
少しの違いで大きな不安を感じる

感覚の特性

【感覚が敏感または鈍感】
視覚の過敏や鈍麻がある

18

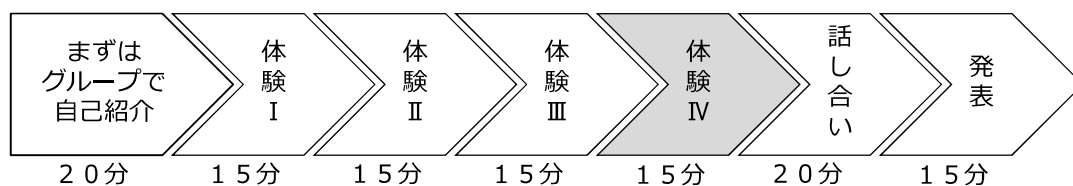
演習 1 -体験Ⅳ 感覚の特異性①



- この体験は、一斉に行います。「ファシリテーターの発する10の単語もしくはフレーズを聞き取る」です。メモをしてもかまいません。
- でも、ここはとても騒がしい場所です。
- さて、皆さんは、いくつ聞き取れるでしょうか。

19

演習 1 -体験Ⅳ 感覚の特異性①



- ここでみなさんに体験してほしいこと

感覚の特性

【感覚が敏感または鈍感】
聴覚の過敏や鈍麻がある

社会性の特性

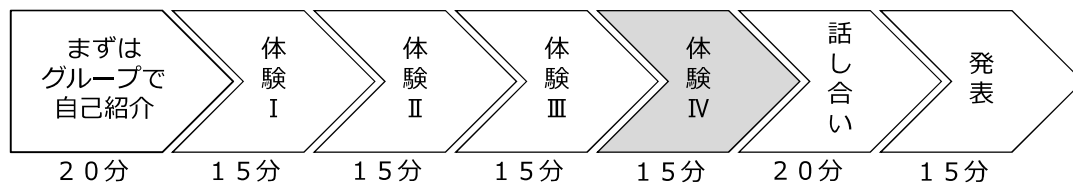
【状況の理解が難しい】
周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい

コミュニケーションの特性

【理解が難しい】
話し言葉の理解が難しい

20

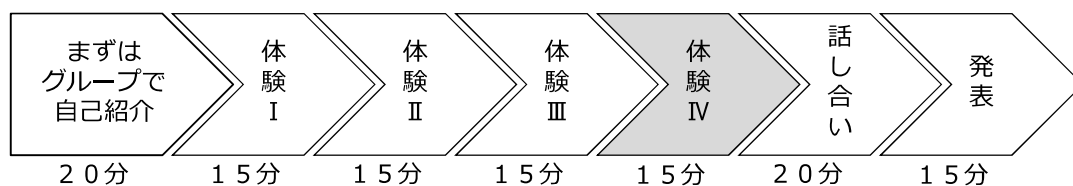
演習 1 -体験Ⅳ 感覚の特異性②



- 2つめの体験は、2人ないしは3人組で行います。
3人組の場合は、1人vs2人で行います。
- まず、先攻後攻を決めましょう。
- 受け手は、右手に軍手をはめて目をつぶって手のひらを出します。
攻め手は、ティッシュ・ウェットティッシュ・サンドペーパーの
どれかで手のひらをこすります。
何でこするかはアトラダムにしてください。
- 右手が終わったら、軍手をしていない左手で体験しましょう。
- 受け手になった人が体験のターゲットです。

21

演習 1 -体験Ⅳ 感覚の特異性②



- ここでみなさんに体験してほしかったこと

感覚の特性

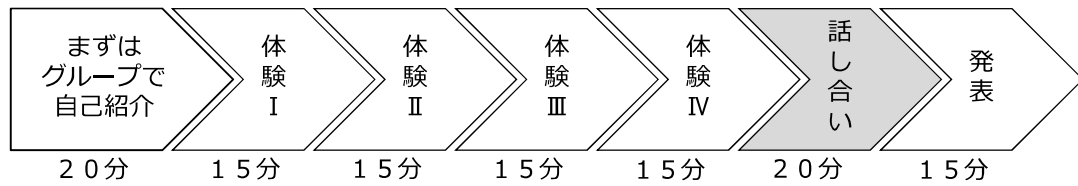
【感覚が敏感または鈍感】
触覚の過敏や鈍麻がある

社会性の特性

【状況の理解が難しい】
周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい

22

話し合い



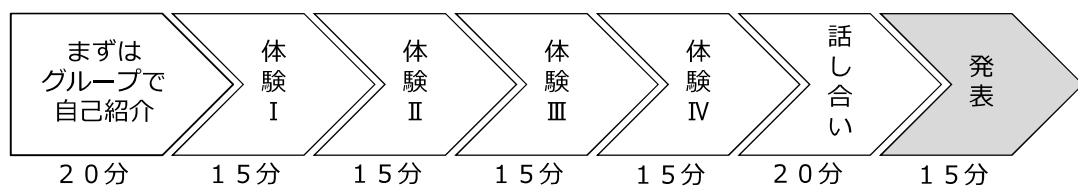
進行役・記録役・発表役の方を確認し、ワークシートに沿って話し合いを進めましょう。

<話し合いの内容>

1. この演習の中で感じた強度行動障害の状態を示す人たちの困難
2. この演習で体験したこと以外にもこんな困難があるのではないかと思ったこと
3. その他グループの中で話されたことがあれば

23

発表



- 発表役の方が、グループで話し合われたことを報告します。出された意見や感想のいくつかをお話してください。発表時間は1分とします。
- すべてのグループが発表できないかもしれません。あらかじめご了承ください。
- 話し合いシートは、研修中に掲示しておくかもしれませんので、その点もご了承ください。

24